

2016 年度事業経過報告

◎総括報告

公益法人 5 年目を迎えた本会は、『国民に信頼され尊敬される組織の実現』を目指し、公益事業を中心に各種事業を行った。

本会の中長期総合計画“日技新発展『7』プラン”については、『7』プラン推進委員会のもと、年度事業との整合性を図りながら順次実施と点検を行った。

第 2 回を迎えた歯科技工士国家試験は、新たな試験地に宮城県が追加され全国 5 ヶ所を会場に実施された。また、本会は指定試験機関に役員を派遣し、これに協力した。

平成 28 年熊本地震に対する「熊本地震対策本部」を中心に、被災地支援活動を行った。

教育研修事業部門では、日技生涯研修事業、日技指定研修事業・顎口腔機能学研修及び歯科技工所管理研修を継続開催した。また、厚生労働省委託事業「感染症予防歯科技工士講習会」を継続開催した。

国際振興事業部門では、開発途上国への歯科技工技術支援として、ベトナム社会主義共和国を対象とする事前調査のための役員派遣、視察団の受け入れ、そして「ベトナム国際セミナー～歯科医療に貢献する日本歯科技工～」（日本国外務省後援）を、公益財団法人国際医療技術交流財団（以下「JIMTEF」と表記）の協力もと開催した。また、公益財団法人国際協力 NGO ジョイセフ活動の支援活動を地域組織と会員の協力の下に行い、開発途上国の女性、子供たちへの支援活動に寄与した。

広報企画事業部門では、歯科技工に関する普及啓発事業として、「2016 年入れ歯感謝デー市民公開講座」を東京都墨田区錦糸町「オリナスモール」において開催した。

本会編集による歯科技工士の仕事紹介書籍『歯科技工のおもしろさ』（一般財団法人口腔保健協会発行）は、重版となった。

公益社団法人日本歯科医師会（以下「日歯」と表記）、公益社団法人日本歯科衛生士会との間で、「歯科三会会長連絡協議会」を開催した。また、本会と日歯の実務担当常務理事の間で意見交換会を行った。

平成 28 年度厚生労働科学研究（歯科技工業の業務形態の実態把握に関する研究/歯科衛生士及び歯科技工士の復職支援等の推進に関する研究）への協力を行った。

衛生行政統計の歯科技工所数と本会調査数の乖離問題については、行政内部で歯科技工士就業届の記載内容と照合し正確性を高めるための事務手続きが行われることとなった。

災害保健医療、災害保健歯科医療対応のための各種会合に参加した。また、大規模災害発生時の災害医療に関する知識と技術の修得を目的とした JIMTEF・災害医療研修ベーシックコース、同アドバンスコースの履修に協力した。

首都直下地震等大規模災害対策の東京都帰宅困難者対策条例に則り、備蓄品の点検、本部事業継続・事務局機能維持等のための対策を検討した。

「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」を定めた。

組織拡大のため、新卒者に対する入会促進ための支援対策事業等を継続した。

本会創立 60 周年記念誌発行に向け、編纂作業を開始した。

地域組織との情報の共有を図るため、全国会長懇談会を開催した。

以上、2016 年度の総括報告とする。